

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名 こども発達ひろば まんまる

公表日 2026年 3月 30日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5			
	2	職員の配置数は適切であるか	5			
	3	生活空間は、わかりやすく構造化された環境になっているか。また、発達の特徴に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	5		絵カードを使用（個別の場所、物を分かりやすくしている）おもちゃを片付ける場所の固定、物の整理整頓。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こどもたちの活動に合わせた空間となっているか	5		毎日清掃消毒を行っている。 支援終了後に清掃・消毒を行っている。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	5		毎日支援後に振り返り等をし、今後の改善点を検討している。勤務時間が限られているスタッフとの共有は特に気を付けている。（大事なことは確実に共有できるように心がけている。）	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5		職員間で検討し改善に努めている。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5			
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			分からない	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5			
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか	5		アセスメント表を作成し行っている。	
	11	こどもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5		発達検査、感覚検査は全員に用いている。 適応行動尺度についても必要に応じて取り入れている。	
	12	個別支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	5			
	13	個別支援計画に沿った支援が行われているか	5			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5		他の職種で集まり行っている。	

関係機関や保護者との連携	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5		活動の担当者を変えたり、水遊びなどは使う玩具を変えたり、散歩コースを変えるなどし、同じ活動でも内容に少し変化をつけている。	
	16	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成しているか	5			
	17	支援開始前には職員間で打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5		朝や、週末に行っている。前日に各活動時に主に担当するお子さんを決めている。朝の会、運動など一週間ごと担当を変えている。	
	18	支援終了後には、職員間で打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5		午睡時や、支援終了後、次の日の朝などに行っている。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5		毎日支援記録を記入している。	
	20	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	5			
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にそのこどもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5			
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか			わからない	
	23	移行支援として、こども園、幼稚園、特別支援学校等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	5			
	24	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4		回数は少ないかもしれないが、必要に応じて行き来したり、電話などで話すなどのやり取りもしている。 わからない。	
	25	こども園、幼稚園等との交流や、地域のこどもと活動する機会があるか		5		検討課題が多く、取り組めていない。
	26	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5		個別支援時や、連絡ノート、毎日の送迎時などを利用し話している。保護者に子供の課題や現状を伝える方法やタイミング等、見極めが重要で、必ずしもすべてを伝えきれているわけではない。	個別相談を含め、臨機応変に保護者と話す時間を確保したい。
	27	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	4	1	家庭で取り組んでほしい内容、お弁当についてなど、その都度伝えていくようにしている。	プログラムとしては行っていないが、スタッフ間で話し合い保護者に伝えている。
	28	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5		契約時に行っている。	
	29	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から同意を得ているか	5			
	30	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4	1		定期的に行っているが、全スタッフが取り組めているかは課題。

保護者への説明責任等	31	保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	3	2		時間、参観、活動内容、スタッフ人数（体制）により、取り組むことが難しく課題。月一の参観はあるが、保護者同士の連携の支援までは至っていない。保護者の連系についてどのような形をとるか、今後もう少し考えてみてほしいように感じる。
	32	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5			
	33	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を保護者に対して発信しているか	5		月一でおたよりを配布している。	
	34	個人情報の取扱いに十分注意しているか	5			
	35	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5		連絡ノートを活用している。	
非常時等の対応	36	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	3	2	研修の中で取り組んでいる。地震発生を想定した訓練は毎月行っている。	地震発生を想定した訓練以外の訓練は実施に至っていない。防犯マニュアルについての周知については課題。
	37	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5		月一避難訓練を行っている。	
	38	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	5			
	39	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか				
	40	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5		月一会議時共有している。 ミーティングで共有している。	
	41	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5			
	42	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか				